

令和7年度事業成績書

(更)全国更生保護法人連盟

第1 会議関係

1 常務理事会

第1回

令和7年 4月24日

更生保護会館

出席者 10名

(うち 代理参加者1名

オンライン参加者2名)

オブザーバー1名

欠席者 1名

※オンライン会議 (zoom ミーティング方式) 併用によるハイブリット方式で開催

「議事事項」

- (1) 令和6年度事業成績書 (案)
- (2) 令和6年度一般会計収支決算書 (案) 及び特別会計 (傷害共済・内田基金) 収支計算書 (案)
- (3) 常務理事・評議員の選任

「報告・連絡事項」

○全更連

- ・令和7年度行事予定について

○保護局

- ・令和7年度更生保護委託費について
- ・特定補導の実施状況について
- ・息の長い支援の積極的な実施について
- ・ウェブ会議サービスを活用して生活環境調整対象者と接触する場合の留意事項について
- ・処遇ガイドラインについて
- ・更生保護施設プロフィールリストについて
- ・省令等の改正について
- ・更生保護施設整備事業について
- ・令和7年度更生保護施設等に関する協議会・職員研修について
- ・拘禁刑の導入について

第2回

令和7年10月15日

更生保護会館

出席者 11名

(うち代理参加者 1名)

「協議事項」

- (1) 令和8年度予算概算要求を踏まえた更生保護事業の在り方について
- (2) 傷害共済規程の改正について
- (3) 助成事業等の進捗状況について

- ① 地域ネットワーク構築・寄り添い支援事業
- ② 訪問支援スタートアップ助成事業
- ③ 更生保護施設職員スキルアップ助成事業
- ④ 環境改善事業

- (4) その他、全更連として取り組むべき事項について

- ・ 矯正への要望案

「報告・連絡事項」

○保護局

- ・更生保護施設の公益・収益事業の実施について
- ・更生保護委託費の執行について

○全更連及び日更協の報告・連絡事項については割愛

第3回

令和8年 2月 6日

「協議事項」

- (1) 令和8年度事業計画 (案)

アルカディア市ヶ谷
出席者 10名
(うち代理参加者 3名)
欠席者 1名

2 理事会

第1回

令和7年 5月 8日
アルカディア市ヶ谷
理事総数 18名
出席者 13名
監事 2名
欠席者 5名

第2回(書面議決)

令和7年 7月 18日
理事総数 18名
回答人員 18名

第3回

令和8年 3月 5日
更生保護会館
理事総数 19名
出席者 12名
監事 2名
欠席者 7名
(うち書面表決者 7名)

- (2) 令和8年度一般会計収支予算及び特別会計(傷害共済・内田基金)収支予算(案)
(3) 定款変更(案)
(4) 役員等の改選(案)

「報告・連絡事項」

○全更連

- ・令和8年度行事予定(案)について

「議案」

第1号議案 令和6年度事業成績書(案) 原案どおり承認

第2号議案 令和6年度一般会計収支決算書(案)及び特別会計
(傷害共済及び内田基金)収支計算書(案) . . 原案どおり承認

第3号議案 評議員の選任 原案どおり承認

第4号議案 常務理事の選任 原案どおり承認

その他 議事録署名人の選任 原案どおり承認

「報告・連絡事項」

○全更連

- ・令和7年度行事予定について

○保護局

- ・令和7年度の更生保護委託費について
- ・専門的処遇及び“息の長い”支援の積極的な実施について
- ・処遇ガイドラインについて
- ・更生保護施設プロフィールリストについて
- ・省令等の改正について
- ・更生保護施設整備事業について
- ・令和7年度の研修予定等について
- ・拘禁刑の導入について
- ・保護観察対象者の口座開設支援策について
- ・農業体験を通じた刑務所出所者等の就農等促進事業について
- ・更生保護地域寄り添い支援事業について
- ・提供物品一覧(貝印から)について

「議案」

第1号議案 副理事長の選任 原案どおり承認

第2号議案 評議員の選任 原案どおり承認

その他 議事録署名人の選任 原案どおり承認

「議案」

第1号議案 令和8年度事業計画(案) 原案どおり承認

第2号議案 令和8年度一般会計収支予算書(案)及び特別会計
(傷害共済・内田基金)収支予算書(案) . . 原案どおり承認

第3号議案 定款変更(案) 原案どおり承認

第4号議案 評議員の改選(案) 原案どおり承認

その他 議事録署名人の選任 原案どおり承認

「報告・連絡事項」

○全更連

- ・令和8年度行事予定(案)について

3 評議員会

第1回

令和7年 5月 8日

アルカディア市ヶ谷

評議員総数 36名

出席者 21名

○保護局

- ・令和8年度更生保護施設等関係予算（案）について
- ・令和7年度経営研究会アンケート結果
- ・令和8年度研修等予定について
- ・事業主が職場における顧客等の言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等について
- ・専門処遇ガイドラインについて
- ・受刑者等用更生保護施設プロフィールリストについて
- ・更生保護制度に関する世論調査
- ・寄附者に対する法務大臣感謝状の授与について
- ・第76回“社会を明るくする運動”について
- ・就労支援関係について
- ・地方再犯防止推進計画及び地域再犯防止推進事業について
- ・更生保護地域寄り添い支援事業について

「議案」

第1号議案 令和6年度事業成績書（案）・・・・・・原案どおり承認

第2号議案 令和6年度一般会計収支決算書（案）及び特別会
（傷害共済及び内田基金）収支計算書（案）・・原案どおり承認

第3号議案 理事の選任・・・・・・原案どおり承認

その他 議事録署名人の選任・・・・・・原案どおり承認

「報告・連絡事項」

○全更連

- ・令和7年度行事予定について

○保護局

- ・令和7年度の更生保護委託費について
- ・専門的処遇及び“息の長い”支援の積極的な実施について
- ・処遇ガイドラインについて
- ・更生保護施設プロフィールリストについて
- ・省令等の改正について
- ・更生保護施設整備事業について
- ・令和7年度の研修予定等について
- ・拘禁刑の導入について
- ・保護観察対象者の口座開設支援策について
- ・農業体験を通じた刑務所出所者等の就農等促進事業について
- ・更生保護地域寄り添い支援事業について
- ・提供物品一覧（貝印から）について

第2回（書面議決）

令和7年 7月18日

評議員総数 39名

回答人員 39名

「議案」

第1号議案 理事の選任・・・・・・原案どおり承認

その他 議事録署名人の選任・・・・・・原案どおり承認

第3回

令和8年 3月19日

更生保護会館

「議案」

第1号議案 令和8年度事業計画（案）・・・・・・原案どおり承認

第2号議案 令和8年度一般会計収支予算書（案）及び特別会計

評議員総数 37名
出席者 18名
欠席者 19名
(うち書面表決者 19名)

4 傷害共済審査委員会

第1回(書面議決)

令和7年 5月 7日

構成員 8名

出席委員 8名

第2回(書面議決)

令和7年 5月30日

構成員 8名

回答委員 8名

第3回(書面議決)

令和8年 2月24日

構成員 8人

回答委員 8人

(傷害共済・内田基金) 収支予算書(案)

・原案どおり承認

第3号議案 定款変更(案)

・原案どおり承認

第4号議案 役員の改選(案)

・原案どおり承認

その他 議事録署名人の選任

・原案どおり承認

「報告・連絡事項」

○全更連

・令和8年度行事予定(案)について

○保護局

・令和8年度更生保護施設等関係予算(案)について

・令和7年度経営研究会アンケート結果

・令和8年度研修等予定について

・事業主が職場における顧客等の言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等について

・専門処遇ガイドラインについて

・受刑者等用更生保護施設プロフィールリストについて

・更生保護制度に関する世論調査

・寄附者に対する法務大臣感謝状の授与について

・第76回“社会を明るくする運動”について

・就労支援関係について

・地方再犯防止推進計画及び地域再犯防止推進事業について

・更生保護地域寄り添い支援事業について

「川崎自立会：補導主任」

令和7年4月2日(水) 午前8時頃、施設内の階段で2階に上る際、2、3段上がったところでつまずき、階段の角に顔面をぶつけて左目瞼上を裂傷する負傷をしたもの。

3日の通院加療。(給付決定)

「善隣厚生会：施設長」

令和7年4月9日(水) 午前9時50分頃、施設内1階廊下において、会議用折りたたみ長机が梱包されている段ボールの開封作業中、ハサミを上げた状態で壁に立てかけた段ボールの梱包部分に使用されていたテープをハサミの片刃で切っていたところ、ハサミが段ボールに引っかかり、ハサミを持っていた右手親指上部をハサミの根本部分で3cmにわたって挟むように切創する傷害を負ったもの。

19日の通院加療。(給付決定)

①「佐世保白雲：補導員」

病院に入院中の療生の依頼で、業務により令和7年10月15日(水) 市役所に赴き、同人の国民健康保険資格確認書を受け取った。同日の午後1時30分頃、同資格確認書を持って病院に向かう際、T字路交差点において自車が右折レーンから右折しようとしていたときに、左折レーンの後続車が左折するにあたり右折レーンにはみ出すほど大きくハンドルを切ったため、自車の左後部に衝突し、その衝撃により頸椎捻挫、左肩関節捻挫、左胸部打撲傷、腰椎捻挫の負傷をしたもの。

14日の通院加療。(給付決定)

②「栃木明德会：補導員」

第4回

令和8年 3月25日

構成員 8人

出席委員 7人

元寮生が逮捕されたため、令和7年2月3日（月）午前10時頃、大家の要請により、職務として室内を片付けていた際、段ボールの解体作業中に室内で転倒し、右手首を骨折したもの。

4日の入院加療、8日の通院加療。（給付決定）

①「愛媛県更生保護会：調理員」

令和7年5月14日（水）通常勤務終了後、勤務先である愛媛県更生保護会から自転車で帰宅中、同日午後6時過ぎに踏切にさしかかった時、自転車のタイヤが踏切内のレールに挟まり、自転車ごと転倒した。その際、左手を路面についたため、左手首（左橈骨遠位端）を骨折したもの。

1日の入院加療、31日の通院加療。（給付決定）

②「ウィズ広島：福祉補導員」

令和7年10月21日（火）の午後、更生保護施設内で行事を開催中、1階エントランスで参加者同士のトラブルを仲裁する際に、備え付けの看板に足が絡まり転倒した。その際、右肘を強打し、こぶができる負傷（後にひびが入っていることが判明）をしたもの。

17日の通院加療。（給付決定）

第2 事業計画関連事業等

安全・安心な地域の実現に向けて、更生保護施設と更生保護協会等が一体となって刑務所出所者等の地域による包摂を推進する取組みを一層強化していく必要があり、更生保護事業者の意見・要望を踏まえつつ、法務省保護局との緊密な協働の下、事業を実施した。主な事業は次のとおりである。

1 地域自立支援の充実強化

(1) 地域自立支援施設としての整備

① 実施体制の整備の必要な予算の確保

令和7年10月31日(金)、年度内に不足が見込まれた更生保護委託費について必要かつ十分な財源を確保することなどを求め、法務省保護局長に対し緊急要望を行った。

② 基本処遇ガイドラインの作成

法務省保護局と協働し、更生保護官署職員及び更生保護施設職員の編集協力を得て、令和7年8月に「更生保護施設における基本処遇」を発刊し、各更生保護施設に配布した。なお、その続編となる特定補導等専門的処遇に関するガイドラインに関しては、令和7年10月に編集作業を開始し、令和8年度中の発刊を予定している。

③ 拘禁刑導入等を踏まえた矯正処遇との連携の強化

令和7年10月15日(水)、拘禁刑導入による特性に応じた矯正処遇の展開や更生保護施設における専門的処遇の充実の動向を踏まえ、矯正施策と更生保護施設との連携の一層の強化を求め、法務省矯正局長に対し要望を行った。

④ 訪問支援促進助成事業

更生保護法人立川更生保護財団の助成を受けて、更生保護施設を退所するなどして地域にその生活基盤を移行した刑務所出所者等に対し、対象者の自宅等を訪問するなどして更生保護施設による継続的な支援を実施する訪問支援の実施に係る経費の一部助成を14の更生保護施設に対し実施した。

⑤ 訪問支援事業実務研究会の実施

令和7年11月12日(水)、訪問支援事業の着実な実

施と更なる推進に向け、更生保護施設（指定施設及び当連盟訪問支援促進助成対象施設）の訪問支援職員及び所管保護観察所管理職等において、オンライン方式により研究協議を行った。協議では、訪問支援の実施状況や事例を踏まえ、対象者の選定や動機づけ、特色ある取組みや配慮事項、施設退所者の地域移行などを中心に、効果的な実施方法等について活発な意見交換がなされた。

⑥ 少年関係更生保護施設基本問題研究会への助成

令和7年8月20日（水）・21日（木）、更生保護会館及び更生保護施設敬和園において7名（5施設）が参加して行われた表記研究会の実施に係る経費の一部助成を行った。なお、同研究会は、令和7年度からは参加施設の自主運営とされ、初日には、立教大学の掛川准教授による講義「刑事司法ソーシャルワークの観点からみた非行少年処遇」と各施設の抱える課題についての協議、2日目には、敬和園の施設見学の後、少年対象者の受入状況、寮内規則、指導体制などについて意見交換が行われた。

⑦ 更生保護事業の在り方に関する全国協議会（経営研究会）の開催

令和8年2月5日（木）・6日（金）、アルカディア市ヶ谷において、宿泊型保護事業を営む更生保護法人役職員及び更生保護官署管理職等が参加し（ハイブリット方式）、「これからの更生保護施設について」をテーマに、更生保護施設の持続可能な運営や効果的な処遇の在り方についての研究協議、社会福祉法人理事長による『経営者や管理者が知っておくべき法人運営のポイント』の講演と質疑応答などが行われた。

（2）居住環境の改善による社会復帰の促進

更生保護法人立川更生保護財団の助成を受けて、更生保護施設の居住環境の改善に取り組み、千葉県、愛知県、岐阜県、大阪府、京都府の各1施設、福岡県2施設の計7施設で、居室・食堂・事務室等のブラインド、カーテン等窓周りの取り替え、壁紙の修繕、居室内の間仕切り等を実施した。

(3) 人材の確保・育成の推進

① 更生保護施設職員スキルアップ助成事業の実施

更生保護法人立川更生保護財団の助成を受けて、更生保護施設の処遇機能の更なる充実強化を図ることを目的として、施設職員がスキルアップのための研修等に参加するための経費の一部として、19施設44名の職員を対象に受講料等を助成した。

② 更生保護施設処遇力強化研修の実施

オンラインの動画配信による講義受講と参集方式（令和7年8月4日（月）法務省大会議室）を組み合わせ、更生保護施設職員38名を対象に、認知行動療法に基づくプログラムに関する基礎的知識の修得による特定補導（A群）の着実な実施と処遇専門施設としての機能向上を目的として研修を実施した。

③ 新任更生保護施設補導職員研修の実施

令和7年7月16日（水）及び17日（木）、法務省大会議室において、比較的経験年数の少ない更生保護施設の補導主任、補導員、福祉職員、薬物専門職員及び訪問支援職員63名とオブザーバー3名（新任の施設長）に対し、職務遂行に必要な処遇に関する基礎的知識の修得のための研修を実施した。

④ 更生保護施設管理研修の実施

令和7年11月19日（水）・20日（木）、更生保護会館において、比較的経験年数の浅い更生保護施設の施設長13名に対し、業務管理、処遇企画、職員統括及び地域社会調整など施設の責任者として必要な知識等の向上を図るため研修を実施した。

⑤ 更生保護施設におけるSST中級研修の実施

令和7年9月4日（木）・5日（金）、アルカディア市ヶ谷において、更生保護施設職員25名の参加を得て、SSTに関するスキルアップのための研修を実施し、修了者にはSST普及協会の中級認定の終了証書が手交された。

2 地域更生支援ネットワーク化の推進

(1) 更生保護法人が主体となって運営する更生支援ネットワークの構築と推進

更生保護法人立川更生保護財団の助成を受けて、更生保護法人等が刑務所出所者等を地域で支援するための関係機関等との連携ネットワークを構築し、関係機関等からの相談等に対し、必要な助言や具体的な支援等を行う取組みに係る経費の一部助成を、13の更生保護施設及び7の地域連携・助成事業者（協会）に対し実施した。

（２）地域連携・助成事業への円滑な移行と体制の充実強化

令和7年12月9日（水）、地域連携・助成事業協議会をオンライン方式で開催し、地域連携・助成事業を営む更生保護法人の役職員及び更生保護官署担当職員等の参加を得て、将来を見据えた地域連携・助成事業の在り方についてグループ討議を行い、“息の長い”支援の一層の充実を図るための具体的な方策について協議した。

3 関係機関・団体との連携

日本更生保護協会評議員である昭和産業株式会社から更生保護施設への食品提供の申出があり、同社と令和7年12月25日付けで「食品の提供に関する合意書」を交わした。

同合意書に基づく第一弾として、令和8年2月3日、都内更生保護施設を拠点に、同社からの提供食材を希望する更生保護施設に配布した。なお、今後も同社から継続的に食材提供が行われる予定である。

4 広報の充実

令和7年3月に改修したホームページ「Guide Runner for リ・スタート」に活動記事や研修・協議会の概要などを掲載するなど、その一層の活用により、広く国民から更生保護事業に対する理解と協力が得られるよう努めた。